



オンラインセミナー

SDGs×多文化共生



-中国地方から考える『住み続けられるまちづくり』-

2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は「誰ひとり取り残さない」社会をゴールにしています。

このセミナーでは、多様でグローバルな社会づくりに様々な立場で携わる方々をお招きし、国内でも課題先進地域といえる中国地方の外国人支援の現状や特徴、具体的な事例を通して、すべての人が豊かに住み続けられる「誰ひとり取り残さない」まちづくりについて考えます。



講演①：

「持続可能な社会を読み解く 多様なレンズ」

～国際的視点とグローバルな
視点を獲得する～

佐藤 真久氏（東京都市大学 大学院 環境情報学研究所 教授）
筑波大学卒業、同大学院修士課程環境科学研究 科終了、英国国立サ
ルフォード大学にてPh.D取得（2002年）。地球環境戦略研究機関
（IGES）の第一・二期戦略研究プロジェクト研究員、ユネスコ・
アジア文化センター（ACCU）の国際教育協力シニア・プログラム・
スペシャリストを経て、現職。アジア太平洋地域における国際環境・
教育協力に関する 政策対話・調査研究、持続可能な開発のための教育
（ESD）に関する関連プログラムの開発・運営・研究などに関わる。



講演②：

「中国 5 県の多文化共生の 現状と課題」

明木 一悦氏（NPO 法人安芸高田市国際

交流協会 代表理事・事務局長／NPO 法人多文化共生
マネージャー全国協議会 理事）広島市生まれ。2002年地方議会議員
として活動。2011年東日本大震災後、安芸陸前高田夢応援団を設立
して被災地支援ボランティア活動開始。同年安芸高田市多文化共生推
進員、2013年安芸高田市国際交流協会の事務局長に就任、法人化。
2014年広島市土砂災害安佐南区ボランティアセンター運営活動。同
年多文化共生マネージャー中国5県協議会を設立。2015年防災士、
広島県防災アドバイザー。同年NPO 法人多文化共生マネージャー全国
協議会理事。2016年熊本大震災で多言語支援センター設置運営。

パネルディスカッション：

「中国地方から考える、多文化共生を活かしたまちづくり」

事例紹介①

「SDGs 未来都市が取り組む多文化共生 ～広島県東広島市の事例から～」



国が認定する「SDGs 未来都市」に2020年7月に選ばれた広島県東広島市。JICA 中国をはじめ、市内の大学や企業、市民団体など多様な機関と協力して地域の国際化に関する様々な取り組みを展開し、「学生や外国人が定着し、活躍するまち」を目指している。

事例紹介②

「山間部における多文化共生 ～島根県雲南市の「チャレンジ」～」



芝 由紀子氏（一般社団法人 ダイバーシティうんなん
toiro 代表理事）

神奈川県横須賀市出身。2012年韓国人の夫が国際交流員として採用されたことから島根県雲南市に移住。2013年夫婦で市民団体を立ち上げ、外国人住民や外国につながる子ども達が生き生きと暮らせるよう日本語支援や多文化共生活動を開始。2015年より島根県外国人地域サポーター、雲南市社会教育委員。

日時

2020年9月5日（土） 13:30～16:30

実施方法

オンライン（ZOOM）配信

定員

300名（定員に達し次第×切／応募者多数の場合は先着順とさせていただきます）

参加費

無料（要申込）

お申込み・
お問い合わせ

お名前・ご所属・お住まいの都道府県・E-mail（WordやPDFの添付資料を受信できるもの）と「本セミナーに期待すること」をご記入の上、件名を「オンラインセミナー申込」としてE-mailでお申込み下さい。開催前日までにZoomのリンク及び資料をメールアドレスに送信いたします。

JICA 中国 市民参加協力課（E-MAIL：jicacice@jica.go.jp TEL 082-421-6305）

主催：JICA 中国（広島県東広島市鏡山3-3-1）

後援：一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）、公益財団法人ひろしま国際センター、一般財団法人岡山県国際交流協会、公益財団法人しまね国際センター、公益財団法人山口県国際交流協会、公益財団法人鳥取県国際交流財団、ESD活動推進センター、環境省中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）

